

## 人気投票で見る東方コミュニティの現状②

～あなたはいつ東方を始めましたか？～

人気投票の結果の考察については第三章に譲るとして、アンケートによって示された結果から、東方コミュニティの現状についてみていきたい。

まずはアンケート項目の『東方を知った時期』の結果を右ページにグラフ化した(資料.3)。図中の折れ線グラフは、各項目を一ヶ月あたりのコミュニティ人口増加速度になおしたものである。

これをみると、東方コミュニティは**2004年の後半**(永夜抄頒布から萃夢想頒布まで)と**2007年から2008年の夏頃**(求聞史紀発売から地霊殿頒布まで)の二つの時期に、さながら戦後日本における『ベビーブーム』のごとく**大幅に新規参加者が増加する時期があった**ことが分かる。

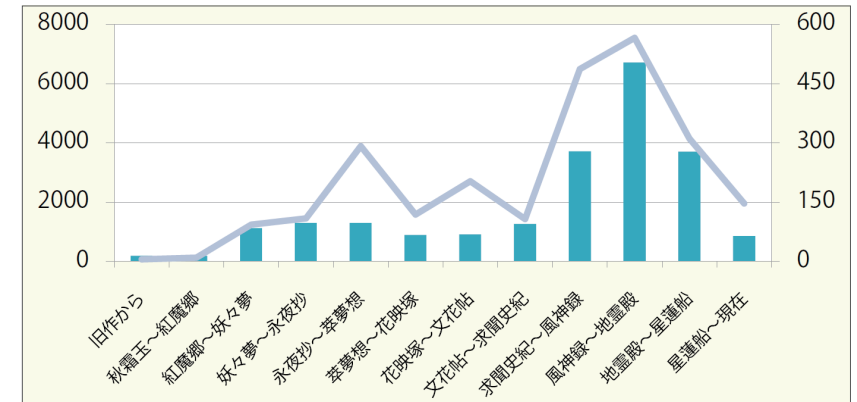
コミュニティの中でもこの現象は認知されており、前者の時期に東方を知った者を「永新参」、後者の時期に東方を知った者を「ニコ新参」と総じて呼ぶ。後者を風新参ではなくニコ新参と呼ぶのは、この時期がニコニコ動画にて東方が流行しはじめた時期と重なるためである<sup>1</sup>。

人口増加による混乱に加えて、オタクの性として「にわか者」を嫌う傾向があるため、両者は蔑称として使われることが多いが、最近では自らそう名乗ることも多い(同じく蔑称であった「ニコ厨」でも同様の現象がみられる)

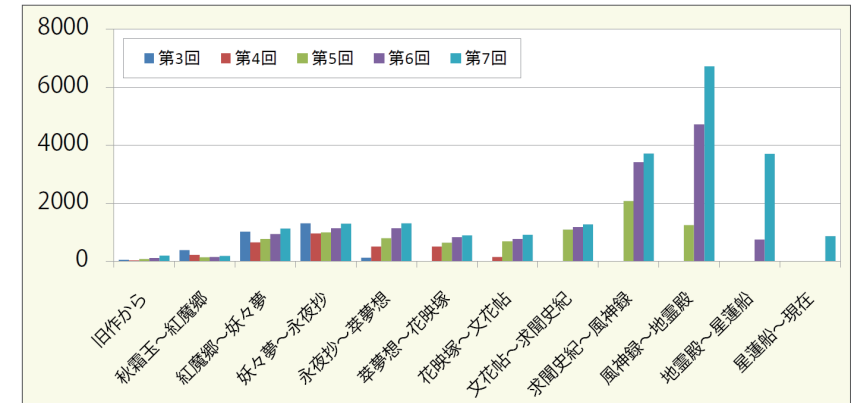
『新規層が多くみえるのは、単に古参層が投票しなくなったからではないか』という反論も考えられるが、投票者アンケートが始まった第三回からの推移(資料.4)をみても、特にそのような傾向はみられなかった<sup>2</sup>。逆に新規層で大幅に投票数が伸びているのは、東方を知ってから東方シリーズ人気投票の存在を認知するまでのタイムラグと考えられる。

同じデータを全体からみた割合に直し、回数ごとの推移で追ったのが三つ目のグラフ(資料.5)である。永新参と呼ばれた者も現在ではコミュニティ全体の5%ほどであり、**全体のおよそ半数は東方を知ってまだ2年も経っていない**ということが分かる。

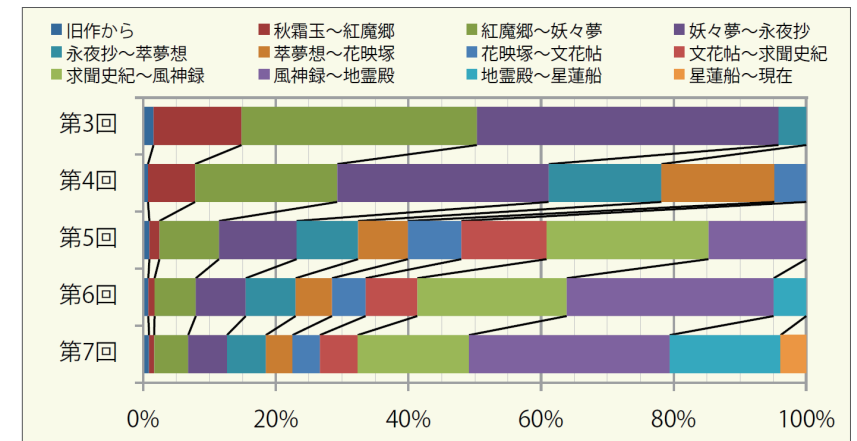
この急激な新規参加者の増加は、世代間の知識・経験の分断や価値観の変容など、様々な形でコミュニティに影響をおよぼしていると考えられる。



資料.3 第7回東方シリーズ人気投票アンケート『東方を知った時期』の分布



資料.4 東方シリーズ人気投票アンケート『東方を知った時期』の回答数推移



資料.5 東方シリーズ人気投票アンケート『東方を知った時期』の回答者割合推移

1 アンケート項目「東方を知った場所」の結果をみても、ニコニコ動画・YouTubeは筆頭にあげられている。

2 なお、むしろ古参層の投票数も増加傾向にあるのは、一部詐称が混じっていることも考えられるが、「知った時期」と「ハマった時期」が同じとは限らない点も考慮する必要がある。